

# Nozomi-Planningレポート

令和2年6月号 Vol.162



撮影地 和歌山県和歌山市 「赤いカーネーション」  
撮影者 阪本 綾美

## ●今月のTOPICS●

### 【助成金情報】

- ・拡充された雇用調整助成金の特例措置

### 【労務管理情報】

- ・ハローワーク等での求人不受理

### 【IT情報】

- ・新型コロナウイルス感染症対策で行われた在宅勤務の実態

### 【その他情報】

- ・春・夏・冬のはなし Vol.114
- ・今月の書籍紹介  
「未来を変える目標  
～SDGsアイデアブック～」
- ・6月の税務と労務の手続き  
[提出先・納付先]

のぞみプランニングは「人」に関わるエキスパートとして、人事・労務管理のサポートを通じてお客様の成長・発展に寄与し、そこで働く全ての従業員様・ご家族様・お客様の満足度向上を応援する社会保険労務士を中心とした労務コンサルティング会社です。お客様と共に私たちも成長・発展し、喜びを分かちあい、心を結び合えるよう努めています。

【発行元】合同会社/社労士法人のぞみプランニング  
〒530-0012 大阪市北区芝田1丁目4-17-5F  
TEL (06) 6377-6177 FAX (050) 3488-0145

【企画・編集】合同会社/社労士法人のぞみプランニング  
〒530-0012 大阪市北区芝田1丁目4-17-5F  
TEL (06) 6377-6177 FAX (050) 3488-0145

理念：「共に学び、共に育み、共に分かち合う」

<http://www.nozomiplanning.com/>



## 闘いの末

### — 結局はコロナと共存? —

ステイホームで退屈したのか、中学 2 年の孫がやってきてこう尋ねた。“新型コロナウイルスがあるなら、新型でないものがあるの？ウィルスって何者？”…説明は後述するとして、14 世紀に 7,500 万人もの死者を出したペスト、その後梅毒、天然痘、麻疹、インフルエンザ、エイズ…など病原体と人とは果てなき闘いの歴史であった。それを時の文豪達は、文学作品として世に遺してきた。有名なのが発行部数 100 万部を超えたといわれるフランスの文豪カミュの“ペスト”である。小説はこんな言葉で始まる。

「4 月 16 日朝、医師ベルナルは診察室を出ようとして階段口のまん中で、1 匹の死んだ鼠につまづいた。その鼠がふだん居そうもない場所に居たという考えがふと浮かんだ…（後略）」これがペストの病原菌発見に繋がったのだが、松本清張は日本でエイズパニックが起こった 2 年後の 1989 年、早くも小説“赤い氷河期”を出版した。始めにカミュの冒頭文を紹介し、エイズウィルスもずっと以前から存在していたことを示唆したあと、エイズにまつわる問題を核心にすえて書かれた長編のサスペンス小説である。

…エイズの猖獗で感染者が 1 億 5 千万人にも及ぶ当時の世界で、一体誰がエイズウィルスをばら撒いたのか。鳥を介して発生するインフルエンザにエイズウィルスの遺伝子を組み込み、風（渡り鳥）に乗ってエイズウィルスを世界中に伝播…、インフルエンザ感染後、数年経って突如エイズ発症で死亡者続出。正体（原因）不明…東西冷戦下の某国の世界制覇戦略という奇想天外な小説であったことを憶えている。

この小説が発表された頃、エイズワクチンに心血を注いでいた科学者達から“今世紀中にワクチン完成は絶望”との声。そして 30 年後の今日、残念ながらワクチンは誕生せず、従ってエイズウィルス感染者は今も増加の一途を辿っている。ただ多くの新薬によってエイズ発症には至らず、死の病から慢性疾患に変ってきた為人の心からは忘れられた感がある。そこへ飛び込んできたのが WHO の緊急事態対策統括官の記者発表ニュース (5/13)。“エイズウィルスは消えたわけではないが、治療法や予防法が確立され、かつてほど恐れられなくなった。（同じように）新型コロナウイルスは新たな風土病となって消滅せず、長期的な問題に発展する可能性がある”と。

それではご承知の方も多いと思うが、ウィルスについて少しふり返ってみよう。

今から約 130 年前の 1892 年、有名なタバコモザイク病の病原体が発見された。それまでみられた病原体が通過できない素焼きの陶器を素通りしたことから“濾過性病原体”つまりウィルスの始まりである。大きさは約 1 万分の 1 ミリ、単独では増殖できない為生物と言えるかどうか？他の動物や植物に取り付くと盛んに増殖し、現在 5 千種類以上あるという。その一部を紹介する。

**DNA 型ウィルス** (以下ウィルスの文字省略) **ポックス**:天然痘(ウィルス中最大)、**ヘルペス**:ヘルペス(忍者の意)、**アデノ**:アデノ(のど風邪)

**RNA 型ウィルス** **パラミクソ**:はしか、**オルソミクソ**:インフルエンザ A・B・C 型、**コロナ**:のど風邪(太陽のコロナ様をしている)、**ピコルナ**:小児マヒ(一番小さい)、**レトロ**:がん(一部の乳がん、白血病)、エイズ(免疫不全) …。

ありふれた風邪の原因でしかなかったコロナウィルスは、2002 年に中国・広東省で発生した SARS、2012 年の中東呼吸器症候群 MERS、そして今回の新型と猛威が続く。中国のコウモリが持つコロナウィルスはかねてから警戒されていたが、それ故今後も新たな新・新型コロナが出現するかも？

毎朝テレビ番組はコロナ一色。翌日になると何も残らない週刊誌と同じ不毛の論議の繰返し。唯一山中教授の言葉だけが残っている。「コロナ騒動、一年は続くでしょう。私の予想がはずれることを願っています。」

筆者紹介：八崎輝義 日本チバガイギー社（現ノバルティスファーマ）教育研修課長、取締役人事統括部長、京都薬科大学常任理事、現京薬会相談役。著書“今知っておきたいエイズ”、“京薬会の 120 年の軌跡”等執筆。



今月の書籍紹介～一押しの一冊をご紹介します～



## 「未来を変える目標」 ～SDGs アイデアブック～

(編著：一般社団法人 Think the Earth 1,800円+税)

現在、コロナウィルス対策として、在宅勤務されている方も多いのではないのでしょうか？  
ただ、主たる目的が感染防止であったため、急遽在宅勤務を実施したものの、テレワークという観点では効率的に機能しているとは言い難い会社様も少なくないかもしれません。

実際にはコロナ禍での強制在宅勤務という面があったとしても、「働き方改革」の重要な位置づけとしてかねてより政府がテレワークを推進してきたにもかかわらず、一向に普及しなかったという事実に照らし合わせますと、ここ数ヶ月でのテレワークの広まりこそがバックキャスティング思考の産物ではなかったかと思われまます。

今の世界は1年間に地球1.7個分(日本は地球2.6個分)の資源を使っていると言われていています。将来世代の資源を使ってしまっているのです。それにより気候変動が猛烈なスピードで深刻化しており、このままでは美しい地球を孫、ひ孫の代につないでいけないという強い危機感のもと、SDGsは2030年の世界の姿を表した目標の集まりとして生まれました。

SDGsの目標は達成困難なものばかりです。現状からどんな改善ができるかを考えて改善策を積み上げていくフォアキャスティング思考では限界があります。目指すべき到達点から逆算して行動を起こさなければ、とても達成できるものではありません。これがバックキャスティング思考であり、それによってイノベーションを起こすことができるのです。

本書は、SDGsの17のゴールごとに、実際に未来を変えた世界中のアイデアを紹介しています。その一つに「母子健康手帳」があります。日本人にとっては当たり前のものですが、これは妊婦や乳幼児の死亡率が高かった第二次世界大戦直後の日本で導入されたものなのです。当時の日本と同じ貧しい途上国において、母子への継続したケアに役立つ母子健康手帳を参考にした試みが始まっているのです。病院や医師を増やす以外にも小さな命を救う方法は他にもきっと見つけれられるのではないのでしょうか？各ゴールの様々な事例がそのことを教えてくれます。

SDGsの理念に「誰も置き去りにしない世界」の確立があります。現実の世界情勢を見ていては絶対に実現できないことでしょうか。だからこそ大切なのは、未来から今を考えること。そうすることでしがらみにとらわれることなく、何が真に必要なのかが見えてきます。これこそアフターコロナの世界に求められる視点ではないのでしょうか？

持続可能な社会の担い手を育成するため、SDGsは学習指導要領にも盛り込まれます。若い世代にとってはSDGsは身近なものになっていくことでしょうか。大人も変わっていかねばなりません。子どもから大人まで、SDGsを分かりやすく、楽しく学べる一冊です。

(執筆 三升谷孝司)



## <6月の税務と労務の手続[提出・納付先]>

### 1日

- 労働保険の年度更新手続の開始  
＜7月10日まで＞ [労働基準監督署]

### 10日

- 源泉徴収税額・住民税特別徴収税額の納付  
[郵便局または銀行]
- 雇用保険被保険者資格取得届の提出＜前月以降に採用した労働者がいる場合＞  
[公共職業安定所]
- 特例による住民税特別徴収税額の納付  
[郵便局または銀行]

### 30日

- 個人の道府県民税・市町村民税の納付  
＜第1期分＞ [郵便局または銀行]
- 健保・厚年保険料の納付 [郵便局または銀行]
- 健康保険印紙受払等報告書の提出  
[年金事務所]
- 労働保険印紙保険料納付・納付計器使用状況報告書の提出 [公共職業安定所]
- 外国人雇用状況の届出(雇用保険の被保険者でない場合)＜雇入れ・離職の翌月末日＞  
[公共職業安定所]

### 雇入時及び毎年一回

- 健康診断個人票 [事業場]

### ～ちょっとブレイク～



撮影者コメント

～母の日～

「5月10日(日)は母の日！  
毎年どの花をプレゼントしようかとカタログと睨めっこをしています。

一般的には『母への愛』が花言葉の赤いカーネーションが主流ですが、近年ではアジサイやバラなどもカーネーションに続き主流になりつつあります。特にアジサイは『辛抱強い愛情』『元気な女性』などの花言葉があり、送った後の梅雨の時期にも鮮やかな花を咲かせる事から人気が出ているそうです。

皆さまは何か贈り物をされましたでしょうか。」

撮影者 阪本 綾美

## 当事務所より一言

緊急事態宣言も多くの地域で解除されましたが、以前の生活、業務に戻る状況ではありませんので、まだ引き続き対策が必要かと思えます。

ここ数か月の間に、テレワーク導入やオンライン会議等が一気に普及しましたが、一度普及してしまえばこれは通常のことになります。のぞみプランニングでは2012年からオンライン会議を導入しておりましたが、のぞみプランニングで利用しているZoomが一番普及したオンライン会議システムの一つではないでしょうか。

さて、4月にテレワーク導入する企業向けに、「今すぐ始めるテレワークセミナー」の講演をいたしました。新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うオンラインでの開催であったことから、全国の企業に参加いただくことになりました。講演の企画をいただいてから開催の決定までに約1日、講演告知のメールマガジン発信から2時間で予定数を超えるお申し込み、さらに追加の講演告知後にも、また2時間で予定数を超えるお申し込みをいただいたようです。講演の企画をしてくださった企業の対応の早さにも驚きましたが、メールマガジンが届いてからすぐに企業が申し込みをすることにも驚きました。そして、もし、このセミナーがオンラインセミナーではなかったら、これほどまでに必要とされるセミナーではなかったと思います。

新型コロナウイルス感染拡大防止を機に、働き方は一気に変化しました。少しは戻るとは思いますが、もう元には戻らないと思います。ネガティブなニュースが多いですが、とても大きな改革が進んでいます。テレワーク導入、多様な働き方、助成金申請等に伴うご相談など、弊社も皆様を全力でサポートしてまいりますので、お気軽にご相談ください。

by 出口 裕美

